

## 故宮川武雄先生を悼む

謹んで、神奈川大学名誉教授、故宮川武雄先生の御霊に申し上げます。

先生は、昭和七年、当時の旧制神戸商業大学第一期生として坂西由蔵博士の下で学ばれた後、神奈川大学の前身である横浜専門学校教授に就任されました。昭和五十四年、定年により神奈川大学を退職される迄、四十有余年の間、本学で教育、研究に携わられ、退職と同時に、請われて創価大学に迎えられました。

本学ご在任中は、経済学部長、大学院経済学研究科委員長、学長事務取扱、学校法人神奈川大学理事などの要職を歴任され、後進の育成と大学教育、大学行政に尽すいされ、本学の発展に多大の貢献をされました。

先生のご専門は理論経済学であり、とりわけ、独占および寡占の理論にご造詣が深く、その方面についてのご研究により昭和三十六年、名古屋大学より経済学博士の学位を受けられました。先生の温和な風ぼう、巧みな話術には、人をひきつけるものがありました。創価大学へ移られましたから、折にふれて、お元気なお姿をお見かけしております。またのに忽然として不帰の人となられました。人の世の常とは申せ悲しいことであります。

先生は、教育、研究に携わられるほか、かつての神奈川大学商経法学会を育成され、人文学会との連携につくされました。教職員組合の発展の為に、或いはまた当時の横浜五大学連合学会の為に働かれ、また地方労働委員会の委員としても貢献されました。平和運動、原水爆禁止への運動にも尽力され、その実に幅広く、多方面にわたるご活躍は、

また、先生の学問の幅広さを物語るものでもあります。

思い返してみますと、先生が本学において大学行政にもつばらかかわられた時期は、全国を吹き荒れた大学紛争の時期でありました。その激動の混乱期に、夜を徹しての大衆団交に身を挺してあたられ、また大学の将来に向けて幾多の施策を講ぜられ、今日の平穏な学園の基礎を築かれたのであります。

今日先生を失うことは、誠に痛恨の極みであり、ご遺族ご親戚はもとより、先生を知るすべてのものが深い悲しみに暮れております。

宮川武雄先生とのお別れに臨み、優れた教育者、研究者であられた先生の業績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

昭和六十二年六月十五日

神奈川大学経済学部長 鈴木芳徳